

たのしい体験がいっぱい！夏休みの思い出

消防団体験



7月17日(日)に消防団体験が開催され、小学生とその保護者30人が参加しました。

始めに「ミッキーの消防隊」「スーパーマリオの消防隊」などのビデオを観て火事がどんな時に起きるか、どんな事に注意が必要かなどを学び星が丘小学校の校庭などで、消火栓の扱い、消火器の使い方、消火のための放水体験を行いました。

放水体験では、子ども用の消防服(防火衣)を身に付けて、全員が順番に団員さんと一緒にホースをにぎり空高く放水しました。この夏の楽しい思い出になったことでしょう。



子ども事業&夏休み体験教室



7/3 メダカ教室



7/23 バルーン教室



8/3 ポスターの描き方



8/4 ミニランドセル作り

8/5 環境講座

「ソーラーランタンをつくろう」



8/18

8/17 プログラミング教室

フラワーアレンジメント教室



子どもたちの夏休みも終盤に差し掛かった8月19日、小学生の夏休み体験教室最後のイベントである社会見学を行いました。当日は30人近くの参加者が日本科学未来館と川崎マリエンを見学しました。



日本科学未来館はお台場に位置し、科学技術の理解を深めるために建てられた科学館です。宇宙や環境、発電や人体などに関わっている最新技術を、実際に体験することによって学べる点は非常に魅力的でした。

社会見学に行こう！

川崎マリエンは川崎港と市民の交流を深めるために生まれた施設で屋上の展望台や税関について学ぶことのできるシアター、大きなサメのはく製などが常設されています。

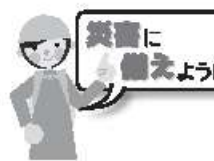
行きも帰りも子どもたちは非常に元気いっぱい、まっすぐな学びの姿勢をたくさん見せてくれました。ここで生まれた興味の種を是非大切にしてほしいと思います。



成人学級

待ちに待った成人学級、3年ぶりの開級に多くの参加者が集まりました。令和4年度は、『「備える」その時あなたは大丈夫?』をテーマに、いろいろな備えについて5月14日から7月16日まで全10回の学習をしました。

「食に関して備える」「体を整え備える」「防災に備える」「心を整え備える」など4つのテーマに分けて進められました。



なかでも、食材を無駄なく使い簡単にできる燻製づくり・おからを使ったエコ味噌づくり・身近な防災①(富士山の噴火の話)・身近な防災②(グループワーク)・廃油でろうそくを作ろうなどは、生き抜くための備えとして、勉強になった・参加して良かったと好評でした。

特に、身近な防災の富士山噴火の講義をもとに、被害を最小限におさえるために、災害が発生した場合を想定した「災害図上訓練」をグループワークで行い、身の回りの安全と避難所までの経路を確認する作業は、危険な場所を地図に書き込みながら防災情報として知っておくことに大変役立ちました。

地震大国ニッポン! 日頃から防災意識を高めて、いざというときの「備える」を改めて見なおす良い機会になりました。備えあれば憂いなしですね。

ステラ

★輝き★

No. 13

～地域の子供たちの成長を見守って～

館報編集委員が立山 均さんの歩んで来た道のお伺いしました。

立山さんは「相模原市消防団・中央方面隊第4分団第4部・消防後援会」に所属して約20年になります。毎週、消防団の隊員と共に、黙々と訓練をしています。「災害が発生した場合には直ぐに出動しなければなりません。地域を守るには目立たないところでの日々の訓練が非常に大切なのです。」と話す言葉にも力が入ります。

生まれ育った佐賀県武雄市で学校の先生から上溝のパンの製造会社を紹介され就職し、50年以上パンの製造に携わってきました。

上溝は昔から夏祭りが豪華で大勢の見物客でにぎわうので有名です。山車に乗って踊るお囃子に興味を持った立山さんは「獅子とおかめ踊り」を習得し、特におかめ踊りの方は自信があり、今でも祝い事の場で踊る事があるそうです。

立山さんの夢は、伝統あるお囃子の指導を通して地域の子供たちの育成に携わる事です。さらに消防団や後援会のような地道な活動で、「地域を守り人と人の繋がりを大切に作る大人に育てて欲しい。」と熱く語っていました。

最後に「立山さんから皆様へ」次のようなお願いがありました。「消防団も後援会も実情は高齢化により手薄状態です。地域を愛する皆さん、ぜひ勇気とボランティアの精神で入会して頂きたい。よろしくお願い致します。」



立山 均 会長

